

氏名	峰山幸子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3333 号
学位授与の日付	平成19年3月23日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Supervisors' attitudes and skills for active listening with regard to job stress and psychological stress reactions among subordinate workers (上司の傾聴態度・スキルと部下の仕事のストレスとメンタルヘルスの関連)
論文審査委員	教授 荻野 景規 教授 下野 勉 助教授 小阪 淳

学位論文内容の要旨

上司の傾聴態度・スキルとその部下の仕事のストレスとメンタルヘルスの関連について調査を行なった。解析対象は Active Listening Attitude Scale (ALAS) に完全回答した上司 41 名と、その直属の部下で、JCQ (Job Content Questionnaire) と職業性ストレス簡易調査票の一部で構成された調査票に完全回答した 203 名であった。ALAS で測定された上司の“傾聴態度”と“傾聴スキル”の中央値でその部下をそれぞれ高低 2 群にわけ、共変量を調整した上で共分散分析を行なった。その結果、傾聴態度とスキルの高い上司の下で働く部下は、傾聴態度と傾聴スキルの低い上司の下で働く部下に比べて心理ストレス状態が良いことが観察された。また、傾聴スキルが高い上司の下で働く部下は、職場の支援をより高く認知していた。以上の結果より、上司の傾聴態度・スキルは部下が知覚する仕事のストレスとメンタルヘルスに肯定的な影響を与えることが示唆された。

論文審査結果の要旨

上司の傾聴態度とその直属の部下におけるメンタルヘルスとの関連について検討した研究である。上司の傾聴態度は「傾聴態度」「傾聴スキル」の2つの下位尺度で構成される Listening Attitude Scale (ALAS) を用いて測定し、部下のメンタルヘルスは職業性ストレス簡易調査票及び JCQ (Job Content Questionnaire) を用いて測定した。上司の「傾聴態度」「傾聴スキル」の各中央値でその部下をそれぞれ高低 2 群にわけ、共分散分析を行なった。傾聴態度・スキルの高い上司の部下群では、各対照群と比較して心理ストレス状態が良く、傾聴スキルが高い上司の部下群では、職場の支援をより高く認知していた。本研究は、産業職場における上司の傾聴態度・スキルが部下の職業性ストレスやメンタルヘルスに肯定的影響を与えることを示唆するものであり、労働衛生学上価値ある労作と考えられる。よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。